

何度でも立ち上がる！ TAQUAで復興プロレス!!

10/ 8 [Tue]

8月の前線に伴う大雨による災害からの復興支援を掲げたプロレスイベント（主催：一般社団法人あなたのレスラーズ）が天山多久温泉TAQUAで開催されました。

今年の6月にも多久市でプロレスを行った団体、ZERO 1（ゼロワン）が多久市の復興のためにと開催されたこのイベントでは、シングルマッチとタッグマッチの2試合が行われ、観客はリングをぐるりと囲み、レスラーたちの名前を叫んで応援しました。

また、試合前には「ちびっこプロレス教室」も行われ、第33代NWA UNヘビー級王者 岩崎永遠選手が子どもたちを指導しました。

ZERO 1の大谷晋二郎会長は、「今回は特に会場の熱気を感じられました。何度でも立ち上がるレスラーの姿をみて、多久市のみなさんが元気になってもらえたら」と力強く話され、荒瀬弘之副市長へ全国各地で募った支援金を手渡されました。



▲リングを囲んで応援する観客



▲ちびっこプロレス教室で指導を受ける子どもたち



▲大谷会長から副市長へ支援金を贈呈



▲シングルマッチで技を仕掛ける
たかいわたつひと 高岩竜一選手



▲リングに集まり応援する子どもたち

多久市出身者が大活躍！ いきいき茨城ゆめ国体2019

9/28[Sat]~10/ 8 [Tue]

▶ 支援を受けながらクライミングウォールに登る樋口・霨本ペア



第74回 国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」で、スポーツクライミング競技成年男子リード佐賀県代表の樋口純裕（東多久町出身）・霨本直生（多久高校卒）ペアが見事優勝しました。

経験豊富な樋口選手は、昨年、得意のリードで2位となり、ボルダリングでも入賞した実力者で、今大会は霨本選手と初めてペアを組み、優勝を成し遂げました。リード競技とは、高さ12m以上、幅3m以上のクライミングウォール（人工壁）に取り付けられた、ホールドと呼ばれる手がかりや足がかりでつくられたルートを登り、その到達高度を競う競技です。樋口選手は「得意種目で勝てて良かった。令和5年に佐賀で開催される国民スポーツ大会に向けて、より技術力を高めていきたい。」と優勝の喜びを話しました。

また、ボクシング競技成年男子フライ級では、山口仁也（多久町出身）選手が3位入賞を果たしました。